

松阪市過疎地域持続的発展計画（案）へのパブリックコメント

【実施期間】令和3年7月27日（火）～令和3年8月10（火）

【意見の提出者】4名

【件数】12件

No.	頁	行	意見	回答	担当課
1	16	9	<p>飯南・飯高管内においては、林業は重要な位置づけの産業だと思います。そのため、今後は更なる販路拡大や新たな商品化も含め展開をしていく必要があると思われ、建築材のみではなく高付加価値化も重要であると思います。</p> <p>「3産業の振興」の「その対策」において「他地域と異なる付加価値のある木材製品の生産に取り組み」と記載をされておりますが、事業計画にはそれに該当する事業の記載が無いと思いますが、どの様にお考えでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>松阪産材の需要拡大に向け、今後も製材品の生産体制の強化、及び他地域と異なる付加価値のある木材生産を推進する施策展開を図ってまいりますので、「3産業の振興」の事業計画に「松阪産材販路・需要拡大事業」を追記させていただきます。</p>	林業振興課
2	17	17	<p>飯南・飯高管内は、山や川など自然に恵まれた環境であり、今後もこの自然環境を守りながら、この自然を生かした観光政策が大切だと思います。そのため、森林環境や綺麗な川を守る事業の記載が必要だと思いますが、どの様にお考えでしょうか。</p> <p>また、アウトドア志向の増加による集客が見込まれることから、登山ルートへの休憩場所や施設等のハード的な整備も行う必要があるのではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>松阪市では飯南・飯高管内の自然環境を活用した観光振興事業として、飯南・飯高管内の山々の登山道整備や櫛田川でのカヌー体験を実施しております。今後、さらに観光施策を推進していくうえで、同時に自然環境を適切に保全・保護していくことが重要と考えておりますが、現状の表記では読み取りが困難でありますことから、「3産業の振興」の「⑥観光業」に事業等を追記させていただきます。</p> <p>また、飯南・飯高管内は多くの登山愛好家や観光客の皆さまに親しまれており、登山道及びウォーキングルートの継続的な整備及び休憩所等の施設の建設は、今後必ず取り組んでいくべき事業と考えておりますが、現在計画に記載がございませんので、「3産業の振興」の「⑥観光業」に事業等を追記させていただきます。</p>	飯南地域振興課・飯高地域振興課
3	20	5	<p>「飯高地域資源活用交流施設（道の駅 飯高駅）管理事業」の事業内容はプレハブ冷蔵庫等の購入ということですが、その他に設備や備品の購入・設置を行い、施設機能を拡充していくお考えはないのでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>飯高地域資源活用交流施設（道の駅 飯高駅）は、平成30年度から遊具等を設置し、幅広い年代のお客様にご満足いただけるよう施設機能の充実を図っております。今後も計画的に施設整備等を行い、機能の充実を図ってまいりますため、「飯高地域資源活用交流施設（道の駅 飯高駅）管理事業」の事業内容の記載を修正させていただきます。</p>	西部農林水産事務所

No.	頁	行	意見	回答	担当課
4	16	2	「3産業の振興」の「その対策」のなかに林業に関する内容がいくつか書かれています。対応する事業が事業計画に無いように思います。飯南・飯高管内は地域の大半を山林が占めるため、林業の振興は重要な施策だと思いますが、市としてはどうお考えなのでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 林業振興は、飯南・飯高管内の持続的発展のために重要な施策であり、「木材生産」「森林環境保全」「木材利用」を施策の3本柱として、林道整備や森林整備の促進、森林資源の活用に取り組んでいます。今後も、それぞれの施策展開が着実に推進できるよう、該当する事業を追記させていただきます。	林業振興課
5	12	29	「東京23区からの移住者への支援」についてです。23区から条件に当てはまる世帯に100万円の支給でしたが、条件の厳しい100万円より、移住世帯（年齢制限はあってもよいかもしれません）に一律10万円などできれば吸引力は上がるのではないのでしょうか。隣の多気町さんにはあるのに、松阪市では採用されていないことに疑問を感じています。市としてはどうお考えなのでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 当該事業は財政負担を含め国主導による移住支援事業であり、松阪市ではその他に独自の移住世帯への補助金として空家バンク制度の改修補助金及び家財処分補助金を定めております。現状これらの補助金が移住促進には最も効果的であると考えておりますが、いただいたご意見は今後の事業展開のなかで参考にさせていただきます。	地域づくり連携課
6	17	21	「まつさか香肌イレブンプロジェクト」についてです。地域住民としても険しい山々で、山岳会の方々しかよくわからない大きな資源です。登山者誘致もいいのですが、住民や松阪市民にもっと魅力の伝わる企画があればいいと思いました。山で見られる苔や鳥類、カモシカなどの写真展示やプロジェクター上映、木や水、森林を守る人たちの話を聞くとか、香肌の水で淹れたお茶を味わう会とかいろいろできると思います。香肌イレブンを広く知ってもらい、それから興味を持った方に来てもらう流れを作ることなどしなければ、プロジェクトとしてもったいないなと考えています。16ページでも森林保全、環境保全、林業の振興、美しい川づくりと挙げてもらっているのに、広く人々の認識に訴える広報活動が必要になってくるのではないのでしょうか。その方法としてウェブサイトやSNSと考えておられるようですが、もともと興味のない人は香肌峡のウェブサイトは見ませんし、SNSも余程力を入れて作り込まなければこの先活用することは難しいのが実情です。交流の場も鑑みて、近隣市町の方に広く知ってもらう場は不可欠ではないのでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 「まつさか香肌イレブンプロジェクト」は地域の方々で構成する「過疎地域の活性化を考える会」や「香肌の山整備プロジェクト」を中心に検討し、登山道などの整備とあわせて、地域の資源である豊かな自然を体験してもらうとともに、情報を発信していくことで、「観光交流人口」を増やし、地域活性化を図っていく施策の一つとして取り組んでいるものです。また、まつさか香肌イレブンの他、香肌峡の自然環境を活用した事業として、櫛田川でのカヌー体験会やサイクリング大会なども実施しております。今後、いただきましたご意見を参考に、ウェブサイトやSNSを活用し広く情報発信していくとともに、自然・森林・環境保全の視点も加え、実際に豊かな自然に触れ、魅力を感じていただくイベントも実施してまいります。	飯南地域振興課・飯高地域振興課

No.	頁	行	意見	回答	担当課
7	37~ 38	37ページ9 行目、38 ページ12 行目	<p>「かはだ保育園の取り壊し」についてです。赤桶保育園、波瀬保育園の取り壊しについては、老朽化が進んでいるためという理由がありましたが、かはだ保育園は耐震工事も済んでいる新しい建物です。広い敷地があり、調理場があり、丘の上という環境もよく、その使い途については容易にアイデアが出てくると思います。移住希望者に紹介することもできる物件なのに取り壊しの考えは賛同しかねます。</p> <p>空き家についても利活用を市でされるのではなく、こんな特徴のある物件があるということを相談員が熟知して、移住希望者に紹介することができれば、マッチングが進むのではないのでしょうか。</p> <p>また、移住促進に関わる人材育成を計画に盛り込んでほしいと思います。他地域でどんな建物を使ってどんな人が何をやった例があるのか。移住促進が活発な先進地に学んで、空き家バンクに登録してもらった物件を増やすために何ができるのか。検索でもリモートでも学ぶことはいくらでもあるので、移住促進の起爆剤となる人材育成に力を入れていただかなければ、この先も進んでいかない懸念があります。</p> <p>また、地域おこし協力隊について、目的を明確にして採用してほしい思いもあります。何に取り組むのかは協力隊次第で進んでいる印象があり、ご本人たちとしても住民としても、何に力をいれてもらっているのか非常にわかりにくいのが現状です。活動発信の頻度が著しく下がっていることも、意図があってなのかないのか不明瞭で、地域への関心はなくなってしまったのかと心配になります。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>かはだ保育園については、現在休園中であり、園児の状況等を踏まえ、廃園に向けての調整を行っています。公共施設マネジメントの観点から、用途が無い施設には、市として投資は行わず、施設管理上の問題等もあることから、取り壊しを前提としています。ただし、地域の活用等に繋がる民間活用については、提案を受けたいと考えています。</p> <p>また、移住促進に関わる人材の育成については、セミナーの開催などを通じて地域の方々や将来について考え、情報共有を図りながら、地域を担う人材の育成に努めてまいりたいと考えております。こうした人材育成に関する事業は「田舎暮らし交流移住促進事業」に含まれております。</p> <p>地域おこし協力隊については、地域活性化という目的の達成に資する人材を採用させていただいております。今後は地域おこし協力隊の活動内容等について、より一層わかりやすい情報発信に努めてまいります。また、地域おこし協力隊の活動に関連する事業は、12ページ30行目の「地域おこし協力隊活動事業」に含まれております。</p>	飯高地域住民課・こども未来課・地域づくり連携課

No.	頁	行	意見	回答	担当課
8	9	5	<p>「先人から伝わった文化財や伝統文化の価値を認識し、保存、伝承、活用に努めていく」という箇所です。現在川俣地区住民協議会から発祥した「カハダヲタベル」という食べ物に関する保存、伝承、活用を目的とした冊子作成が進められています。この事業は冊子完成を持って一区切りするのですが、先人の話やそれを受け継いでの現状についての話など、食べ物を切り口に人の生き方や生の声が入り込まれた、無形文化遺産にあたります。現在、住民有志で展示会や冊子作りが行われておりますが、発表や交流の機会が設けられ、多くの人の関心を引き起こすことになる秘密兵器になれるのではと思っています。この「カハダヲタベル」のような取り組みに言及した箇所が無いように思いますが、市としてはどうお考えなのでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>9ページ5行目の記述は、本過疎計画案の骨格となる基本方針として記載させていただいたもので、包括的に記述しております。</p> <p>そのため、いただいたご意見の内容を明確に反映した記述ではありませんが、有形無形を問わず、あらゆる地域文化の振興を図っていくということで、『食文化の伝承』も地域文化の一つに含んでいるものと認識しております。</p> <p>また、「過疎地域の活性化を考える会」の最終報告におきましても、香肌峡の食文化は、重要な地域資源の一つであるということで、「食を活かした事業展開として、食の伝達・伝承の場づくりに関する取り組みの一つとして期待する」という報告もあります。</p> <p>このようなことから、48ページ10行目に「11 地域文化の振興等、(3) 事業計画」において、「地域文化保存伝承事業」という項目を設けたところです。「カハダヲタベル」の取り組みにつきましては、地域の住民自治協議会が主となった地域の皆様方の自律的な取り組みとして、非常に価値のある取り組みであると認識していますので、今後とも地域活力創造のための活動にご協力ください</p>	飯南地域振興課・飯高地域振興課
9	12	22	<p>空家バンクについて、空家バンク改修は改修費の一部負担で十分だと考える。プロジェクトは民間主導で実施すべきではないか。やるなら改修費の補助増額だと考える。行政の役割としては草の根的な周知活動や、住民自治協議会との協調による物件発掘であると思う。特に空家バンク登録を躊躇する要因について、他市・他府県の事例を参考に、解決策を提示していくことが有効と考えるが、市としてはどう考えているのか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>空家の利活用の一層の促進のためには市場取引になじまない空家の流通を進める必要があるため、空家バンクについては行政が運営し、十分な支援を実施していくべきと考えております。</p> <p>空家の掘起し・空家バンクへの登録については、住民自治協議会や地域住民の皆様、地域おこし協力隊等から家主様への声かけが効果的と考えておりますが、引き続き更なる推進のため、補助金の見直しやチラシの配布、空家相談会等も実施してまいります。なお、空家バンクの活用に関する取組については12ページ22行目の「空家バンク活用事業」及び12ページ30行目の「地域おこし協力隊活動事業」に含まれております。</p>	地域づくり連携課

No.	頁	行	意見	回答	担当課
10	14	9	林業の振興のためには、適切な測量と管理者・所有者の特定、その後の集約が大切であると思う。また、原木 ⇒ 製材 ⇒ 消費者という仲買を飛ばした一貫生産販売の検討、特に移動式製材機による現地製材を検討してはどうか。	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>未整備森林が増加する中、松阪市では森林整備の基本となる境界の明確化を行い、森林の集約化を進めています。今後も集約化をより一層推進し、効率的な森林整備につなげられるよう、「3産業の振興」の事業計画に「森林施業集約化推進事業」を追記させていただきます。</p> <p>また、飯南・飯高管内は、林業だけでなく、製材業などの木材産業も発展した地域です。今後も松阪産材の需要拡大に向け、流通面や生産面での調査、研究等が進められるよう、「3産業の振興」の事業計画に「松阪産材販路・需要拡大事業」を追記させていただきます。</p>	林業振興課
11	17	21	香肌峡について、ブランドイメージを統一するためのキャッチコピー・ロゴ・アイコンなどの検討を行ってほしい。	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>松阪市としましても、香肌峡の知名度向上の取り組みが必要と考えており、17ページの「3産業の振興（2）その対策 ⑥観光業」にてその旨の記載を行っております。また、19ページの「3産業の振興、（3）事業計画」において、「過疎地域魅力アップ推進事業」という項目を設けています。香肌峡の知名度向上のための活動、いわゆるブランディングは重要な取り組みと考えておりますので、いただきましたご意見を参考に組み込んでまいります。</p>	飯南地域振興課・飯高地域振興課
12	38	12	「かはだ保育園」はそれほど老朽化していないのであれば、広く利用者を募る活動をすべきと考えるが、市としてはどうか。	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>かはだ保育園については、現在休園中であり、園児の状況等を踏まえ、廃園に向けての調整を行っています。</p> <p>公共施設マネジメントの観点から、用途が無い施設には、市として投資は行わず、施設管理上の問題等もあることから、取り壊しを前提としています。</p> <p>ただし、地域の活用等に繋がる民間活用については、提案を受けたいと考えています。</p>	飯高地域住民課・こども未来課・地域づくり連携課